



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社ジャムコ 上場取引所 東  
 コード番号 7408 URL <https://www.jamco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大喜多 治年  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 後藤 健太郎 (TEL) 042-503-9145  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	40,554	0.5	784	△63.6	384	△84.0	73	△94.9
2019年3月期第2四半期	40,354	6.1	2,152	12.9	2,394	27.9	1,430	38.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △108百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 1,566百万円(17.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	2.73	—
2019年3月期第2四半期	53.32	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	108,797	30,045	27.1
2019年3月期	102,980	30,715	29.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 29,514百万円 2019年3月期 30,173百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

期末配当予想を修正しました。詳しくは本日公表の「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,600	10.1	2,900	△32.9	2,200	△33.1	1,300	△31.9	48.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想を修正しました。詳しくは本日公表の「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	26,863,974株	2019年3月期	26,863,974株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	38,932株	2019年3月期	38,832株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	26,825,099株	2019年3月期2Q	26,825,201株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

当社は、2019年11月19日に機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、当社コーポレートサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国の経済は緩やかに成長が続いているものの、米中通商問題を巡る緊張の増大や英国のEU離脱をめぐる混乱への懸念など、中国や欧州の経済は低迷しており、景気の減速感が高まりました。又、ドル円為替相場は対米ドル円レート112円台前半から105円台前半の範囲で概ね円高傾向に推移しました。

航空輸送業界では、格安航空会社(LCC)の攻勢による競争の激化が続いている一方、世界的な航空需要の拡大により、大手エアラインは新規運航路線の獲得や客室サービスの向上、LCCへの参画など様々な戦略を打ち出しています。航空機メーカーでは、一時的にはボーイング737MAX型機の運航停止の影響が懸念される状況にありますが、中長期的には航空機需要の高まりを背景に、ボーイング、エアバス共に依然として高水準の受注残機数を維持しており、一部機種を増産や燃費効率の向上を目指した新機種の開発が進むなど航空機市場は引き続き堅調に推移すると見込まれています。

こうしたなか当社グループでは、航空機内装品等製造関連・航空機シート等製造関連においては、2019年3月26日に公表しました不適切な品質事案に対して、原因究明・安全性の検証を行なうと共に是正・再発防止に取組み、より高いコンプライアンス・品質意識への変革を進めました。

一方、当社が開発したビジネスクラス・シート「Venture」がボーイング787型機に搭載され、KLMオランダ航空により運航が始まりました。

航空機器等製造関連においては、生産性改善に取組むと共に、これまで培った金属加工技術を生かし、内装品やシートの部品の内製化を進めました。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取組みを継続すると共に、伊丹支所を開設するなど、エアライン向け機体整備の拡大に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 40,554百万円（前年同四半期比 200百万円増）、営業利益 784百万円（前年同四半期比 1,368百万円減）、経常利益 384百万円（前年同四半期比 2,010百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 73百万円（前年同四半期比 1,357百万円減）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末に第3四半期連結会計期間以降の完成工事に対する工事損失引当金を 3,713百万円計上しております。この工事損失引当金による期間損益への影響は、当第2四半期連結会計期間において売上原価 260百万円の増加（第1四半期連結累計期間末の工事損失引当金は 3,452百万円）、又、当第2四半期連結累計期間においては売上原価 67百万円の減少（前連結会計年度末の工事損失引当金は 3,781百万円）となりました。

グループ全体の販売費及び一般管理費、営業外損益、特別損益の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、保証工事費、販売手数料の減少などにより 3,878百万円（前年同四半期比 580百万円減）となりました。

営業外損益は、前連結会計年度末よりも為替相場が円高で推移し為替差損益が悪化したことなどにより 400百万円の損（前年同四半期は、242百万円の益）となりました。

特別損益は、品質関連損失などにより、256百万円の損（前年同四半期は、126百万円の損）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[航空機内装品等製造関連]

当事業では、不適切な品質事案への対応により、一時的に製品の出荷に遅延が発生しており前年同四半期に比べ売上高は減少しました。又、経常利益については、売上高減少の影響や出荷遅延改善に伴う人件費及び輸送費用などの増加に加え、前年同四半期における採算性の良いプログラムの出荷による反動や、為替差損の発生などにより前年同四半期に比べ減少しました。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高 27,066百万円（前年同四半期比 463百万円減）、経常利益 955百万円（前年同四半期比 2,128百万円減）となりました。

[航空機シート等製造関連]

当事業では、ビジネスクラス・シート「Venture」の出荷が進み、前年同四半期に比べ売上高は増加しました。一方、経常損益については、不適切な品質事案の対応として一時的に株式会社宮崎ジャムコにおける生産を停止し、生産拠点の振替を行ったことに伴う追加費用や、為替差損の発生などにより経常損失となりました。

この結果、航空機シート等製造関連は、売上高 7,238百万円（前年同四半期比 277百万円増）、経常損失 728百万円（前年同四半期は、経常損失 674百万円）となりました。

[航空機器等製造関連]

当事業では、売上高は前年同四半期並みとなりました。一方、経常損益については、収益性の良い一部プログラムの出荷が第3四半期連結会計期間以降に繰り延べられたことや、為替差損の発生などにより経常損失となりました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 2,658百万円（前年同四半期比 2百万円増）、経常損失 124百万円（前年同四半期は、経常損失 62百万円）となりました。

[航空機整備等関連]

当事業では、エアライン向けの機体整備及び装備品整備が堅調に推移したことにより、前年同四半期に比べ売上高は増加しました。又、経常利益については、売上高増加の影響や採算性向上の取り組みなどにより前年同四半期に比べ増加しました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 3,590百万円（前年同四半期比 384百万円増）、経常利益 283百万円（前年同四半期比 235百万円増）となりました。

[その他]

その他の区分には、連結子会社の株式会社オレンジジャムコの事業を含んでおり、航空機内装品等製造関連の補助作業等セグメント間の内部取引が中心で、順調に進めることができました。

この結果、その他の区分では、売上高 0百万円（前年同四半期比 0百万円増）、経常損失 1百万円（前年同四半期は、経常利益 0百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産・負債・純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は108,797百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,816百万円増加しました。内、流動資産については、現金及び預金の減少(前期末比1,950百万円減)等がありましたが、原材料及び貯蔵品の増加(前期末比2,927百万円増)、仕掛品の増加(前期末比2,255百万円増)、受取手形及び売掛金の増加(前期末比1,608百万円増)等により流動資産合計で前連結会計年度末に比べ5,867百万円増加しました。又、固定資産については、当第2四半期連結累計期間の投資案件が比較的少なかったことから有形固定資産の減少(前期末比59百万円減)、投資その他の資産の減少(前期末比50百万円減)、無形固定資産の増加(前期末比59百万円増)により固定資産合計で前連結会計年度末に比べ50百万円減少しました。

負債合計は78,751百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,486百万円増加しました。主な要因は、未払法人税等の減少(前期末比1,303百万円減)等がありましたが、短期借入金の増加(前期末比8,305百万円増)、支払手形及び買掛金の増加(前期末比1,101百万円増)等によるものです。

純資産合計は30,045百万円となり、前連結会計年度末に比べ669百万円減少しました。主な要因は、配当金の支払などによる利益剰余金の減少(前期末比463百万円減)等によるものです。この結果、自己資本比率は27.1%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の増減は、以下に記載のキャッシュ・フローにより、1,793百万円キャッシュ・アウトフローとなりました。

## [営業活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、8,033百万円のキャッシュ・アウトフローとなりました。これは、たな卸資産、売上債権の増加によるキャッシュ・アウトフローによるものです。

## [投資活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、1,226百万円のキャッシュ・アウトフローとなりました。

## [財務活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、7,507百万円のキャッシュ・インフローとなりました。これは、金融機関からの借入による収入が借入金の返済による支出を上回ったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高は、航空機内装品等製造関連・航空機シート等製造関連における不適切な品質事案への対応により、当第2四半期連結累計期間において一部製品の出荷に遅延が発生しており、減少しました。出荷が遅延している製品は、不適切な品質事案に対しての是正・再発防止策の実施が進む第3四半期連結会計期間以降から出荷が進み、2019年5月10日に公表した連結業績予想値に対して回復することを予想しております。なお、注文の取り消し、リコール事案は発生しておりません。

一方、利益は、不適切な品質事案への対応に伴う追加費用、出荷遅延改善に伴う人件費及び輸送費用などの増加、一時的な生産停止への対策として生産拠点の振替に伴う費用など、当第2四半期連結累計期間までに発生した損失の影響や、一部プログラムのコスト増加による工事損失引当金の追加などから減益が見込まれるため、通期連結業績予想値を修正いたします。

又、通期連結業績予想の前提となる第3四半期連結会計期間以降の為替レートは105円/米ドルから変更しておりません。

詳しくは本日公表の「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,822,330	3,872,306
受取手形及び売掛金	22,571,490	24,179,717
商品及び製品	2,240,670	1,999,006
仕掛品	30,282,883	32,538,825
原材料及び貯蔵品	16,203,864	19,130,992
その他	3,484,320	4,757,009
貸倒引当金	△3,388	△8,542
流動資産合計	80,602,172	86,469,315
固定資産		
有形固定資産	13,988,321	13,928,421
無形固定資産	1,750,249	1,809,783
投資その他の資産	6,640,107	6,589,905
固定資産合計	22,378,679	22,328,110
資産合計	102,980,852	108,797,426
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,821,292	9,923,115
電子記録債務	8,910,255	9,067,411
短期借入金	17,404,112	25,709,187
1年内返済予定の長期借入金	2,300,000	2,100,000
未払法人税等	1,465,270	161,727
前受金	10,675,352	10,343,259
賞与引当金	1,696,645	1,734,387
工事損失引当金	3,781,190	3,713,496
品質関連損失引当金	67,817	-
その他	4,434,703	3,203,822
流動負債合計	59,556,639	65,956,407
固定負債		
長期借入金	3,700,000	3,600,000
退職給付に係る負債	7,070,783	7,076,802
損害補償損失引当金	921,541	964,609
その他	1,016,411	1,153,731
固定負債合計	12,708,736	12,795,143
負債合計	72,265,376	78,751,550



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,309,484	4,309,484
利益剰余金	20,413,755	19,950,489
自己株式	△30,968	△31,175
株主資本合計	30,052,165	29,588,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166,007	133,022
繰延ヘッジ損益	50,597	46,125
為替換算調整勘定	121,844	△51,365
退職給付に係る調整累計額	△217,091	△201,822
その他の包括利益累計額合計	121,358	△74,040
非支配株主持分	541,951	531,223
純資産合計	30,715,475	30,045,875
負債純資産合計	102,980,852	108,797,426

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	40,354,098	40,554,735
売上原価	33,741,683	35,891,354
売上総利益	6,612,414	4,663,381
販売費及び一般管理費	4,459,675	3,878,864
営業利益	2,152,738	784,516
営業外収益		
受取利息	18,205	24,545
受取配当金	3,794	4,182
為替差益	438,042	-
持分法による投資利益	26,117	2,868
助成金収入	68,707	67,940
その他	23,859	57,103
営業外収益合計	578,726	156,640
営業外費用		
支払利息	194,990	206,447
為替差損	-	193,256
支払補償費	70,106	56,950
その他	71,418	100,423
営業外費用合計	336,515	557,077
経常利益	2,394,949	384,080
特別損失		
固定資産処分損	126,835	13,329
災害損失	-	12,440
品質関連損失	-	230,663
特別損失合計	126,835	256,433
税金等調整前四半期純利益	2,268,114	127,646
法人税、住民税及び事業税	854,842	63,893
法人税等調整額	△1,573	△42,870
法人税等合計	853,269	21,022
四半期純利益	1,414,844	106,623
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,601	33,386
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,430,446	73,236

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	1,414,844	106,623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,521	△32,985
繰延ヘッジ損益	△237,506	△4,471
為替換算調整勘定	332,592	△192,645
退職給付に係る調整額	27,383	15,268
持分法適用会社に対する持分相当額	4,877	-
その他の包括利益合計	151,868	△214,834
四半期包括利益	1,566,713	△108,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,537,267	△122,162
非支配株主に係る四半期包括利益	29,446	13,952

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,268,114	127,646
減価償却費	1,057,010	1,307,280
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	137,474	△39,790
引当金の増減額(△は減少)	436,375	18,362
受取利息及び受取配当金	△21,999	△28,728
支払利息	194,990	206,447
為替差損益(△は益)	334,427	△112,159
持分法による投資損益(△は益)	△26,117	△2,868
売上債権の増減額(△は増加)	2,687,201	△2,796,311
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,942,164	△5,097,796
仕入債務の増減額(△は減少)	1,159,455	1,318,418
前受金の増減額(△は減少)	271,566	△423,239
未払又は未収消費税等の増減額	△17,981	△33,962
その他	△111,858	△993,167
小計	5,426,493	△6,549,868
利息及び配当金の受取額	40,678	28,728
利息の支払額	△191,857	△210,244
法人税等の支払額	△548,537	△1,301,621
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,726,775	△8,033,004
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△687,767	△1,019,545
有形固定資産の売却による収入	523	3,315
投資有価証券の取得による支出	△251,040	△498
貸付けによる支出	△1,000	-
貸付金の回収による収入	1,260	1,220
定期預金の増減額(△は増加)	220,520	108,630
その他	△167,131	△319,942
投資活動によるキャッシュ・フロー	△884,635	△1,226,820
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	34,881,520	35,921,928
短期借入金の返済による支出	△38,531,947	△27,402,716
長期借入れによる収入	1,200,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△600,000	△700,000
リース債務の返済による支出	△119,886	△151,635
自己株式の取得による支出	△108	△207
配当金の支払額	△535,184	△535,658
非支配株主への配当金の支払額	△54,100	△24,680
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,759,706	7,507,030
現金及び現金同等物に係る換算差額	76,585	△40,468
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	159,019	△1,793,263
現金及び現金同等物の期首残高	2,399,235	4,046,170
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,558,255	2,252,906

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間より国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	27,530,537	6,960,877	2,656,783	3,205,887	40,354,085	12	40,354,098
セグメント間の内部 売上高又は振替高	808,450	120,359	9,509	26,734	965,053	54,481	1,019,534
計	28,338,988	7,081,236	2,666,292	3,232,621	41,319,139	54,493	41,373,632
セグメント利益 又は損失(△)	3,083,481	△674,484	△62,289	47,745	2,394,453	496	2,394,949

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,394,453
「その他」の区分の利益	496
四半期連結損益計算書の経常利益	2,394,949

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	27,066,707	7,238,872	2,658,885	3,590,240	40,554,706	29	40,554,735
セグメント間の内部 売上高又は振替高	279,727	85,959	24,222	38,509	428,419	54,791	483,210
計	27,346,434	7,324,832	2,683,108	3,628,750	40,983,126	54,820	41,037,946
セグメント利益 又は損失(△)	955,121	△728,197	△124,659	283,616	385,881	△1,801	384,080

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	385,881
「その他」の区分の利益	△1,801
四半期連結損益計算書の経常利益	384,080

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。